

# 業務の新聞

第25号

平成30年

6月12日

## ボーナス交渉 その1

6/8に第2回ボーナス交渉が行われました。(報告詳細は本部 HP 参照)

会社経営側の主張は、①会社の持続的な発展こそが社員還元の更なる充実や社員のやり甲斐向上、社員・家族の幸福実現につながっていく②経営環境の変化や経営課題について認識を共有すること③生産性向上をはじめとした諸施策について時間軸をしっかりと意識しスピード感を持って議論を行い推進していくこと④社員が気兼ねなく自己啓発活動や意欲あるチャレンジに取り組める職場風土をつくること⑤社員の成長を促すこと。職場秩序を維持し安心して働ける環境をつくることを改めて求めていく。などを前提だとしています。私たちには、“会社”は、主張するだけして聞く耳は持たないというように感じました。

また会社経営側は「当社の支給水準は、支給月数、両方とも世の中のいわゆる大企業の平均を上回っている、会社側としては社員に十分な還元を行っている」と認識している」としています。

私たちは、この間職場から奮闘し『過去最高の数字』を叩き出しました。その成果を“シッカリ還元し”私たち社員と家族の幸せの実現“を目に見える形”で会社経営側は示すべきだと考えます、それが会社経営側の責務なのですから。会社経営側には私たちの要求を再考し満額回答を求めます。

前記した①～⑤は会社経営側の最近の“常套句”になっています。具体性が希薄で“職場段階”では、残念ながら“言葉足らず”となり『絵に描いたモチ』になってしまいます。

## ボーナス交渉 その2

第2回ボーナス交渉の中で会社経営側は、この間のボーナス回答について「不満をお持ちの方もいらっしゃる、そうでない方もいらっしゃる」と認識している。」と述べています。

皆さん！皆さんの職場でこれまでのボーナス回答を会社経営側が主張するように“大満足”している社員・家族がいるのでしょうか？

「会社としては社員のモチベーションだとか成果配分という部分で、そこは十分意識して支給していると認識している。」とも話されました。

皆さん！これまでのボーナス回答で正当な成果配分やモチベーションアップを感じたことがありましたか？

また会社経営側は「5期連続で基本給改定を行ってきている、会社としても考慮してベアを実施してきた」と話されました。

皆さん！JR 東日本で基本給改定もできない『会社経営陣』で良いのでしょうか？会社経営側が様々な機会におっしゃる「優秀な人材」にも見向きもされない会社に成り下がってしまいます。

「社員還元の充実という部分で、そこは会社としても重要視しているところである」と会社経営側は発言されています。是非とも“実感できる還元”を全ての社員に行うことを望みます。

皆さん！皆さんの職場をいま一度眺めてください。足りないものはありませんか？破損した備品はありませんか？“ケチケチ職場”になっていませんか？

掲げた要求を実現するために、職場から声をあげましょう!!!